

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	立教ゼミナール発展編 1 (Seminars for Senior Students of Rikkyo University 1)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	フェミニズムの現代的諸課題		
担当者名 (Instructor)	工藤 万里江(KUDO MARIE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP3140	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016 年度以降 1 年次入学対象科目 定員 30 名		

#### 授業の目標 (Course Objectives)

本クラスを通して受講者は、

- ① フェミニズムの歴史や発展をめぐる基礎知識を身につけ、
- ② 現在フェミニズムが内包／対峙している諸課題について知り、
- ③ 発表を通してフェミニズムが扱う諸課題の広がり学び、自身の課題として取り組み、
- ④ 国家、経済、身体、宗教等の構築においてジェンダーやセクシュアリティが重要な役割を果たしていることを知り、それらに対する批判的な視座を養うことができるようになる。

By the end of this course, students will be able to

- ① Show a basic knowledge of the history and development of feminism
- ② Understand current issues of feminism
- ③ Address a wide range of issues as their own issues through the research and presentation
- ④ Articulate the important roles that gender and sexuality play in the construction of nation, economy, religion, etc.

#### 授業の内容 (Course Contents)

本クラスでは、今日の日本社会においてフェミニズムが内包あるいは対峙している諸課題を批判的に考察する。昨今、特にオリンピックや SDGs との関連において「ジェンダー平等」や「女性活躍」の必要性が叫ばれるようになっているが、そうした観点から唱えられる「フェミニズム」はしばしば新自由主義経済や国家権力と相補的に作用し、それらを強化する機能を果たしていることが指摘されている。一方でこうした「フェミニズム」に異を唱え、経済的な不均衡や人種主義、軍事主義、国家主義に対峙する「フェミニズム」を探究する動きも活発になっている。本クラスではこうした国家や経済との関連における諸課題のほか、身体、リプロダクティブ・ライツ、セックスワーク、宗教などにおけるフェミニズムの諸課題をとりあげ、考察する。

The aim of this course is to examine various issues that feminism is facing today. In Japanese society, the importance of “gender equality” and “women’s advancement” is stressed in relation to Olympics or SDGs. However, the “feminism” emerged from such perspectives often plays a role in reinforcing the neoliberalism and power of the government. Some people raise a question about such “feminism,” and try to pursuit the “feminism” that confronts economic injustice, racism, militarism, and nationalism.

In this course, we will explore the wide range of feminist issues including nation, economy, body, reproductive rights, sex work, and religion. We will have some guest speakers.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション、担当決め
2. 講義 フェミニズムの歴史(1)
3. 講義 フェミニズムの歴史(2)
4. 発表 1 フェミニズムと国家
5. 発表 2 フェミニズムと経済
6. ゲスト・スピーカー①
7. 発表 3 フェミニズムと身体
8. 発表 4 リプロダクティブ・ライツ
9. ゲスト・スピーカー②
10. 発表 5 フェミニズムと現代日本
11. 発表 6 フェミニズムと宗教
12. 発表 7 フェミニズムとセックスワーク
13. ゲスト・スピーカー③

#### 14. まとめ

##### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

必要に応じて別途指示する

##### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

出席・議論への参加度(60%)/発表(40%)

##### テキスト (Textbooks)

授業内で適宜指示する

##### 参考文献 (Readings)

授業内で適宜指示する

##### その他(HP等) (Others(e.g.HP))

ゼミナールのため、受講者はテーマに応じた発表を最低でも1回、受講人数によっては複数回担当する必要がある。担当決めは初回クラスで行い、各テーマに関して扱うべき具体的な参考文献を教員から提示する。受講者はそれらの文献に加えて自身で必要と思う文献・論文を用いて発表の準備をすること。

##### 注意事項 (Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。